

序

中部大学産業経済研究所の設立30周年を記念して、このたび産業経済研究所「紀要30周年記念号」を発刊することになった。

当研究所は、中部大学の前身である中部工業大学が地域社会に貢献する総合大学化を目指す中、未来を見据え、広く経済、産業についての知見を深めるための研鑽に努めてきた。その研究活動の成果を踏まえ、産業経済や企業経営が情報科学・技術の進歩によって大きく変わることを予測・展望し、わが国では先駆的に、経営とITを結んだ「経営情報学部」を創設し、これまでに多くの卒業生を地域社会に送り出している。

当研究所の歩んだ30年は、わが国経済にとっても、教育界にとっても激動の時代であった。大学全入時代への突入は勿論、ネット社会の到来、失われた20年、リーマンショック、東日本大震災による未曾有の経験を踏まえ、人々は新しい世界観、未来観を模索しているといえよう。

そのような状況に 대응していくべく、先人の遺した未来志向と地域貢献を踏まえた実践的で学際的研究活動を今後ともつづけていくことが重要となろう。本「紀要記念号」はそのための一つのかたちとしてまとめられたものである。

平成24年3月

学校法人 中部大学

理事長 飯吉厚夫